



岡山市区づくり推進事業報告書  
(地域活動部門)

令和 3 年 3 月 31 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 竜之口学区防災マップ作成実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ インチョウ モリタニ トシアキ  
氏名 委員長 守谷 俊昭

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	竜之口学区防災マップ作成実行委員会
事業実施区域 (小学校区)	竜之口小学校
① 業 実 施 内 容	1. マップ改定版の発行について ・岡山市発行の最新のハザードマップを活用する。 ・地域の危険場所、避難時に役立つ物、場所(コンビニ・スーパー・自販機等)を再確認 避難所、避難場所、二次避難所などのデータを各町内会から収集し、マップに落とし 込む。 2. 警戒レベル情報を記載。 3. 学区全体へ「防災マップ」完成の案内。 4. 各町内会、公共施設、必要施設などに配布。 5. 令和3年2月21日(日)携帯型防災避難マップを活用した学区全体の防災訓練を実施。 6. 色々な集まりの時に災害時の減災のため「竜之口防災マップ」を活用し図上防災訓練等 を行う。
② 解 決 を 目 指 し た 課 題	1. 自然災害が少ない地域で学区民の災害に関する意識が薄い。 2. 災害時の避難については会議等でいろいろ話し合いをしていたが、急な自然災害(洪水等)が 発生した場合に敏速な避難行動ができる岡山市作成のハザードマップを活用した最新の防災 マップ作成が急務です。 3. 要支援等で町内会へ入会されていない人、特にアパートの入居者氏名、人数の把握は個人情 報に関する問題点、その為学区全世帯の把握は困難な状態です。また、広報活動も同様に入 居者の有無の確認すら困難な場合もあります、災害時(避難)の全世帯広報をどの様に活動 するか苦慮しています。 4. 各家庭に配布されている岡山市発行のハザードマップが活用されていない事が判った。 5. 新型コロナウイルスの影響で委員会の開催ができず、諸課題(避難マニュアル・要支援者)の取 り組みについて委員全体で会議の開催が出来ず、今後の委員会開催も危ぶまれ不安である。

<p>③目的・目標の達成状況</p>	<p>ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況  イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等  ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等  エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況  オ その他⇒定めた目標の達成状況</p> <p>など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。</p> <p>いざ災害が発生した時に地域の全住民が、最大限、安全にそしてより適正に避難活動ができることが必要であり、個人・地域・行政が情報共有しやすい仕組みを作っていくことを目指すため、学区全体の共有実践資料として「竜之口防災マップ」を作成し各戸へ配付。</p> <p>具体的には、岡山市のハザードマップを活用し住んでいる場所を認識して災害時の一時避難場所や二次避難所、危険区域や通行不可の可能性のある道路、子どもたちの通学路途上の危険個所などを書き込み、避難訓練や平常時の訓練などに活用できるマップを作成できた。</p> <p>各委員が積極的な協力があり、地域の危険場所等を探索し、また新規にコンビニの協力があり、広場等の避難場所等を追加した。</p> <p>マップの色彩を協議し鮮明度が増し見やすくなった。</p>
<p>④企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 岡山市発行のハザードマップを活用することで自分が住んでいる場所の浸水と（危険度）の確認ができる。</li> <li>2. 高齢者等にも見て判りやすい、最新の避難警戒レベルを記載。</li> <li>3. 子ども、高齢者等の目線で避難所までの経路を確認し反映、防災マップ作成実行委員会の進行状況、途中経過等について学区連合町内会の幹事会等を通して各町内会へ伝達。</li> <li>4. 各町内会へ防災マップを配布。</li> <li>5. 近隣の主要な施設へ防災マップを配布。  岡山市役所・中区役所・東公民館・高島公民館・竜之口小学校・竜之口幼稚園・竜操消防署  岡山県立東岡山工業・岡山県立龔学校・岡山東支援学校・四御神郵便局・高島交番  東岡山駅前交番・岡山自動車教習所・ファミリーマート長岡店・ながけクリニック・</li> <li>6. 電子町内会で公開。</li> </ol>
<p>⑤次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>地域住民へ防災マップの活用方法、災害時に繋がる資料を作成し配付を予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ハザードマップが理解できる資料</li> <li>2)避難マニュアルの作成が急務</li> </ol>

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

防災マップ作成実行委員会を6回開催、  
2月21日(日)コロナ禍の防災訓練を実施  
計画では、参加人数を制限して実施の予定でしたが、当日は200人を超える参加者が有り無事に終わりました。  
検温・手指のアルコール洗浄、3密を避けて実施、学区民の防災意識の高まりと向上が図られたと思います。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

○事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- 1)子ども目線で危険箇所が書かれているのは良いと思います。
- 2)町内会へ未加入のアパート等への配慮が有るのは良いと思います。
- 3)地区としては他辺重要な取り組みです。他学区の模範となるマップとなることに大いに期待します。
- 4)コロナの影響でどう3密を避けて訓練等を実施するのか難しいと思います。がんばってください。
- 5)マップについては、作りっぱなしの物が多い中、今回の物は更新されていくとのこと。新しく作った物をどのように伝達し、活用していくか見せていただきたいと思います。
- 6)実行委員会のメンバーに女性や若い親が少ないことが気になります。
- 7)P13の「( )年後には自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい」について、詳しい説明をお願いします。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等(右記のI~Vの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)

- 1)昨年作成した防災(携帯)マップは小学生生徒全員へ配付、いつもカバンへ入れている。
- 2)アパートにより個人情報等で配付が困難な宅もあり、いざ災害時には小学校避難所へ集結します、その事もあり、アパートのオーナー等へ防災マップ配付の目的を理解していただく努力を行っています。
- 3)2~3の学区から問い合わせがありマップを差上げました。
- 4)計画では、参加人数を制限して実施の予定でしたが、当日は200人を超える参加者が有り無事に終わりました。  
検温・手指のアルコール洗浄、3密を避けて実施、学区民の防災意識の向上が図られたと思います。  
検温については当日の運営スタッフの中に看護師が居り、スムーズな検温に大変助かりました。
- 5)機会ある事にハザードマップを利用した防災マップ活用の重要性を図っています。
- 6)実行委員会が夜間のため夕食、子どもの件等で女性が出にくい事が女性が少ない。但し交通安全母の会の意見等を参考にしている。
- 7)自前でマップを作成するにはお金がかかりすぎます。例えば一世帯100円を徴収すればと思いますが、地域住民の理解と協力が必要になります。当分の間は岡山市の補助金が頼りです。  
現在の防災マップは土砂、浸水被害を想定したマップで、今後予想されている南海トラフ地震等の地震時の防災マップが必要になります。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- I できた
- ⓐ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

## ⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和2年7月24日	各町内会の防災マップ作成実行委員会、委員へ第1回実行委員会開催の日時と、更新の主旨等を連絡
令和2年9月5日	第1回実行委員会開催 竜之口学区防災マップ改訂版の作成について 1. 岡山市区づくり推進事業（補助金）申請について概略説明 2. 主な変更内容 1) 洪水浸水想定区域（計画規模）変更に伴う改正 2) 避難所、避難場所、広場、高い建物、危険箇所等の写真を追記 3) 避難時に役立つ物等を追記（AED・自販機） 4) 水害・土砂災害の「警戒レベル」防災情報を追記 5) その他（初版の課題等）
令和2年9月27日	第2回実行委員会開催 1) 各町内会の危険箇所・施設等の調査内容を報告 2) 更新する防災マップの内容検討 3) その他
令和2年10月24日	第3回実行委員会開催 1) 第1版に追加、修正箇所等を記入しオーバーヘッドを見ながら説明と確認を行う。 2) 新たな変更、修正ミスについて協議を行う。
令和2年11月14日	第4回実行委員会開催 1) 第3回実行委員会の問題点等をオーバーヘッドを見ながら確認 2) 地域内のAED設置されている公共施設で活用できるか確認し防災マップへ追加記載する。
令和2年11月23日	地域内の公共施設等へAED設置の確認と活用を要請、了解を得る。新規にコンビニへ避難場所の提供を要請、了解を得る。
令和2年12月6日	第5回実行委員会開催 1) 修正、追加等の公共施設のAEDマークの確認、コンビニの避難場所確認 2) 次回開催時には印刷所から校正図を受領し、確認する。各委員に出席を願う。

令和2年12月19日	<p>第6回実行委員会開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.校正(変更、追加項目の確認)</li> <li>2.印刷注文1月8日(金) 完成1月25日予定 1月末までに各町内会へ配布を確認</li> <li>3.今後の変更箇所等あれば12月末まで提出</li> </ol>
令和2年12月27日	校正確認(最終確認)
令和3年1月8日	防災マップ印刷を発注
令和3年1月20日	学区民へ改定第3版の配付について広報
令和3年1月27日	印刷完了
令和3年1月30日	各町内会へマップを配付
令和3年2月21日	<p>学区防災訓練を実施</p> <p>防災避難マップを活用した防災訓練(避難訓練)</p>
令和3年3月20日	反省会開催

## ⑩ 収 支 決 算 書

### ◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	147,500	147,500	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	147,500	150,539	連合町内会負担
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	295,000	298,039	

### ◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	15,000	9,079	キャノンインク
②食糧費	10,000	0	
③印刷製本費	270,000	288,960	会議資料・マップ印刷代
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
⑯その他			
計	295,000	298,039	